



学校法人永原学園  
さんこう  
児童クラブ通信

令和5年6月発行  
— 第3号 —

【三光幼稚園】  
TEL：0952-31-0753  
【さんこう児童クラブ携帯】  
TEL：090-7430-1312

「子どもの声を聴く」

さんこう児童クラブの担当者は、教育・保育の現場経験があります。保育の現場では、子どもの主体性や協調性、話す力・聞く力を育てるために毎日クラスの集まりの時間に、子ども達同士が活動やその内容について話し合う場が設けられています。人の話を聞いて自分の意見や思いを伝えたり、発展させたりしていくプロセスを大事にされた経験は、小学生になった児童クラブの中でも生きています。文字が読め、書けるようになった子ども達は、話し合いの後の行動は実にスピーディーです。指導員の先生たちが、子どもの声をしっかり聴いて準備してくれている成果だと思えます。

久しぶりに会うと、体の成長の早さにも驚きません。子ども達の心身の成長のスピードに負けない様、私達も余裕をもって日々の対話を大事にしていきたいと思う次第です（^^。。）！

🎉6月のおたのしみ🎉

- 雨の壁面製作    ○かさ製作
- 風船バレー等   ○七夕製作
- お宝探しゲーム ○スクラッチアート
- 戸外活動

6月の学童児童数

	5月末 在籍数	6月利用 なし人数	6月 退所人数	6月 初日人数
1年生	10	0	1	9
2年生	10	1	0	9
3年生	1	0	0	1
計	21	1	1	19

児童の様子

紫陽花が綺麗に色づき始める季節となりました。最近雨が降ったり、晴れたり不安定な天気が続いていますが児童クラブの子どもたちは元気いっぱいスライム作りをしたり、廃材で昆虫の家などを作って楽しんで過ごしています。

さて、今回は紫陽花の壁面製作の活動をご紹介します。ある日、梅雨に咲いている紫陽花について紹介をすると、「製作で作ってみたい！」という声が子ども達の中でたくさん上がったので実施しました(\*^-^\*)。用意するものは画用紙と付箋とのりとはさみです♪画用紙を紫陽花の形に切って、付箋で花びらを作ります。これがなかなか難しく、子どもたちは苦戦しながらも楽しみながら取り組んでいるようでした♪出来上がると、「紫陽花は梅雨に咲くから雨粒を描こう♪」と雨に濡れた紫陽花を表現する子や、カラフルな花びらで彩り豊かな紫陽花を作る子も見られ、個性あふれる作品が出来上がりました(\*^▽^\*)

子ども達の作品は和室に飾っていますので、お迎えの際には是非お部屋をのぞいてみてください♪



付箋をくるっと丸めるのが難しいけど…楽しい♪



上手に丸められたよ！



カラフルな紫陽花ができました☆

◇ 6月の目標 ◇  
「室内では歩く」

これから雨の多い季節になり、室内で過ごすことが多くなってきます。そこで、室内で過ごす時の約束について改めて子どもたちと話し合いました。そこで子どもたちから「児童クラブの中では歩く、静かに過ごす」という声が多かったので今月の目標として設定しました。6月は製作活動を多く予定をしております。子どもたちが室内でも楽しく落ち着いて過ごせるよう関わっていききたいと思います。

「1人でいるって悪いこと？」

西九州大学 子ども学部 心理カウンセリング学科  
利光 恵（公認心理師・臨床心理士）

就学前のお子さんを育てていらっしゃる保護者の方や、保育園・幼稚園の先生からいろいろな相談を伺います。その中で近年増えたなあと感じるのが、「自由遊びの時に1人でいるんですが大丈夫でしょうか？」というご質問です。

子どもはいきなり『遊ぶ』ことができるようになるわけではありません。『人を観察して真似する』という段階があるのです。さらに人を観察する前に、モノを観察して使ってみる時期があります。葉っぱや遊具、近くを通る自動車などなど。こういったモノを観察することに夢中な時期が続いていくと、今度は独自の使い方を試してみる。試しているうちに新たな発見や面白さを感じるようになる。すると子どもは、その面白さを『誰か』に伝えたくなる。これがコミュニケーションや対人関係の発達の基本部分だと言われています。

上記の発達のスピードは、個人差があります。そのため同級生同士が集う場面で、積極的に仲間にコミュニケーションをとっていく子どももいれば、消極的に見える子どもも存在することになります。しかし、（そう見える）のは大人の視点だからであり、当の本人は、（今・ここで）自分に必要な成長の種を育てているのです。

人とのコミュニケーションの発達も、最初は（あなたーわたし）の2者関係から始まり、徐々に複数の人と同時に関わることへ展開していきます。少し集団から離れたところで、土いじりをしているお子さんは、まだ集団の輪の中に入ることに慣れていないけど、近くでお友だちの空気を感じながら、自分の課題に取り組んでいる、そんな段階なのかもしれません

最近インターネットや SNS の普及に伴って、「1人遊びをしている子どもは発達が気がかり」などの情報が流れてきます。その影響から、お子さんのために熱心に勉強している保護者の方や先生から、年々ご質問が増えていると感じます。もちろん1人遊びから集団遊びに展開するお手伝いを要するお子さんもいます。

しかし子どもの発達は十人十色です。まずは丁寧に遊びの様子を見守ってあげましょう。そして1人遊びにも、大切な発達の要素があることをご理解いただけると、落ち着いてお子さんを見守れるのではないのでしょうか？

